

Next

発行所 一般社団法人 茨城県建設業協会
建設未来協議会
〒310-0062 茨城県水戸市大町3-1-22
電話 029 (221) 5126(代)
ホームページ <http://miraikyo.com>
発行人 小林 圭一
編集 日本工業経済新聞社水戸支局

平成29年度基本方針

建設未来協議会 会長 小林 圭一

近年、日本全体の景気は上向きになりつつありますが、我々、地方建設業を取り巻く環境は、依然として厳しい状況にあります。2020年の東京オリンピックを控え、首都圏では建設需要が旺盛ですが、一方では事業量の地域間格差や企業間格差が拡がりつつあります。中でも深刻なのが人手不足の問題で、今後10年で現在の340万人の技能労働者のうち、110万人が高齢化で離職するとも言われ、益々深刻になることが予想されます。

そのような中、生産性を確保していくためICT施工に積極的に取り組み技術を修得し、それをさらに高めていくことで建設産業の「経営基盤強化」「生産性向上」「魅力ある職場づくり」に繋がっていきます。そして職場環境の改善、雇用環境の改善に努め、週休2日制の実現に向けても積極的に取り組んでいかなければ、今後より深刻になるであろう少子高齢化・労働人口の減少によって、企業はその存続すら危ぶまれるのではないのでしょうか。

そこで、「業界を変えていこう」、「仕事のやり方を変えていこう」という大きな変革を成し遂げ時には発注者様と歩調を合わせ、共に一歩踏み出して考えていくことが大事なのではないかと思えます。

また、今後はインフラの老朽化対策・長寿命化が求められます。そして、災害時には応急・復旧工事に当たり、住民の皆様が安全・安心に暮らせ

るよう地域の守り手として存続しなければなりません。そのような役割を担うためにも、担い手を確保・育成し、安定的・持続的に企業経営を継続する必要があります。

そのためにも、発注者様と一緒に新3K（給料・休暇・希望）の業界に向けて取組み、未来協議会の活動を通じ、社会資本の必要性、建設業のイメージアップを伝え、一人でも多くの方々に入職していただけるよう、活動していくことが今より重要だと思います。

昨年度特設した広報委員会を今年度より常設とし、事業計画に基づき4つの委員会と6つの地区会の活動を中心に、建設フェスタをはじめ、現場見学会・現場実習、そして発注者様との意見交換会や、会員の皆様との講習会を開催し、広報活動を通じ建設業の魅力を伝えて参りたいと思えます。そして、会員の皆様に積極的に参加、協力していただくことにより、有効な情報を共有し、全県下にネットワークを形成することにより生まれるメリットを、各企業で最大限に活かしていただきたいと思えます。

本年も当協議会の運営に協会本部・会員並びに関係各位の皆様の、より一層のご支援、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。



平成29年度 第25回定時総会開催

— 戦略的な広報活動の展開へ、広報委員会を常設 —

総務委員会 副委員長 後藤 一憲

本協議会の平成29年度第25回定時総会は、5月12日(金)水戸市のホテル・ザ・ウエストヒルズにおいて、会員80名が出席し開催された。

冒頭増子会長の挨拶では、会員にむけて「本会の活動状況をより多くの方々に周知していくために特設の広報委員会を常設委員会に格上げし、戦略的な広報活動を展開していきたい」と力強い挨拶があった。続いて、御来賓の橋本茨城県知事より御祝辞をいただき、その後本年度任期満了となる茨城県知事選挙に立候補を表明している橋本知事へ増子会長から本会より推薦状を手渡した。続いて(一社)茨城県建設業協会の細谷副会長より、建設フェスタの開催・現場実習・見学会等への貢献に対し感謝の言葉をいただきました。

その後、規約により増子会長が議長に指名され、次の議案審議が行われた。

- 第1号議案 平成28年度事業報告の件
- 第2号議案 平成28年度収支決算報告の件
監査報告
- 第3号議案 規約改正(案)の件
- 第4号議案 平成29年度事業計画(案)の件
- 第5号議案 平成29年度収支予算(案)の件
- 第6号議案 役員改選の件

各議案は、いずれも原案どおり可決され、この結果、会長には谷原建設(株)の小林圭一副会長が新任、地域貢献活動担当副会長には、(株)吉田組の吉田長邦副会長の留任、総務担当副会長に(株)大曾根建設の大曾根理一郎氏が、人材・システム担当副会長に(株)柴建設の柴直樹氏、広報担当副会長に(株)高田工務店の高田稔美氏がそれぞれ新たに選任された。



平成29年度の事業計画などを決定



橋本茨城県知事

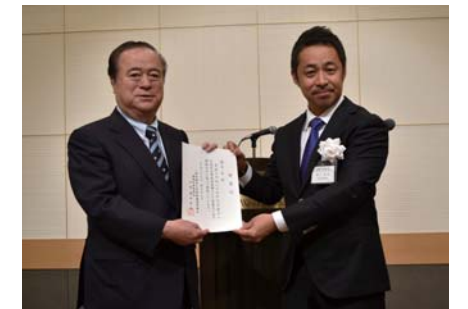


茨城県建設業協会細谷副会長 常陸河川国道事務所八尋所長



新任にあたり小林会長は、災害時の復旧、住民の安全・安心に暮らせる地域の守り手としての役割に触れ、担い手確保・発注者と一体になっての新3K（給料・休暇・希望）の持てる業界をめざし、本会の活動を通じて社会資本の必要性、建設業のイメージアップを図ることが必要と述べた。

議案審議後、来賓挨拶で国土交通省関東地方整備局常陸河川国道事務所の八尋裕所長より、当会メンバーを欠かすことのできないパートナーと称し、担い手確保や生産性の向上に向けた取組みについて説明があった。また、総会終了後は懇親会及び卒業生を送る会が行われ、多くの来賓の方にもご出席頂き卒業生と活動の思い出を語り、本会は幕を閉じた。



橋本県知事に推薦状を手渡した

円滑な業務へ、行政機関と意見交換会

茨城県土木部

総務委員会 副委員長 河野 真



平成28年8月5日(金)、茨城県建設業協会 5階会議室において、茨城県土木部と当協議会の意見交換会を開催いたしました。

茨城県土木部から、富永幸一技監(総括)、古平祐次技監兼検査指導課長、萩本浩志監理課副参事をはじめ両課ご担当の方々に出席いただきました。

冒頭、当協議会増子会長より「上半期8割契約という実施方針に感謝申し上げるとともに、受発注者間の意思疎通や情報共有の大切さなど、意見交換会を通し、今後も互いの問題・課題が解決できるよう努めたい」と挨拶されたのち、富永技監より「予定価格の適正な設定や適切な設計変更など改正品確法の運用に取り組

むとともに、担い手確保やi-Constructionなど新たな課題に対しても積極的に取り組んでいく。また、建設未来協議会と県土木部が一丸となって建設業のPRに努めて参りたい」と挨拶を頂きました。

意見交換会では、県土木部・当協議会双方の情報提供にはじまり、当協議会から、「現場管理」、「入札・契約」、「設計図書」についての質疑を行ったほか、設計図書と現地の差異が発生するケースがあり、設計成果の精査や三者会議の柔軟な開催などについて要望いたしました。

県土木部の皆様には、各質疑・要望事項に対し、4週8休試行工事やICT施工に関する取り組みなどを含み、それぞれの項目に対して熱心にご回答いただき、大変有意義な意見交換会となりましたこと、改めて御礼申し上げます。

このような意見交換会を開催させていただくことにより、就労環境等の向上に繋がることで、ひいては、建設業の魅力アップに貢献できることを期待し、ご関係者の皆様におかれましては、引き続き、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

関東地方整備局 常陸河川事務所

総務委員会 副委員長 長山 朋之

平成28年11月15日(火)、常陸河川国道事務所会議室において、意見交換会を開催しました。

常陸河川国道事務所から八尋裕事務所長、宮崎和幸副所長、高森治副所長をはじめ、多くの方々にご出席下さいました。

はじめに、八尋所長より「我々の使命とは、良質な社会資本を提供し、良好な状態に維持・回復することを続けていくことで、皆様の協力がないと成り立たない」とお言葉をいただき、続いて増子会長より「この意見交換会を足がかりとして、一步でも良い方向へ進むことを望む」と述べられた。

次に常陸河川国道事務所から、総合評価落札方式の実施方針として①配置予定技術者の審査対象期間、②評価形式、③評価項目の追加・改定について、「地域インフラ」サポートプラン関東2016として建設業界の



担い手の確保・育成、生産性の向上を目指した取り組みについて、建設未来協議会から現場見学会・現場実習並びに広報活動について双方より情報提供が行われました。

その後、①入札・契約関係、②設計・積算関係、③施工関係、④その他について、本年度も受発注者の垣根を越え、忌憚なき意見交換が行われました。

「建設フェスタ2016」開催!

人材・システム委員会 副委員長(前地域貢献活動委員会) 田口 富之



上棟式にはたくさんのお子様も参加

平成28年10月30日(日)に第23回目となる「建設フェスタ2016」をひたちなか市にある笠松運動公園にて開催致しました。開催日前日までの長雨、また、秋の行楽シーズンということもあり様々な大規模イベントが重なり、建設フェスタ2016への来場者数の大幅な減少が非常に心配されましたが、来場者数は昨年より8,000人増加し20,000人(昨対比167%、累計来場者数300,000人突破!!)でした。これだけの悪条件の中、建設系のイベントとして国内最大級の来場者数を確保できたのは、まず始めに、県内全域における建設フェスタの周知徹底、また新設された当協議会広報委員会によるSNSを用いた積極的な情報発信及びこれまでの来場者から集めた情報をもとに有効な広告媒体を利用した結果からだとおもわれます。

当日の様子ですが、とにかく各ブースにおいて長蛇の列ばかりです。普段、遠くから「見る」ことしかできない建設業の仕事を、実際に目の前で「観れる!触れる!」ことへの期待感からか、待つことが苦手な子ども(私の息子マチャも含む)

たちが目を輝かせ待っていていました。また、催事の内容は、様々な建設機械の試乗、消波ブロックの作成、建設作業体験リレー、茨城港常陸那珂港区中央ふ頭地区次期処分場工事現場見学(申し込み多数のため抽選)、ミニ上棟式(申し込み多数のため抽選)等、学校の授業では決して行われなことを「体験できる!」ものばかりでした。

これらの催事を体験したことで、子どもたちの建設業へのイメージがよりはっきりしたものとなり、将来の夢の一つとして建設業が選ばれることを期待いたします。また、楽しく催事に参加する子どもたちの様子を間近で見ることができた親たちにとっても建設業へのイメージがより良いものになり、子どもたちが建設業を職業として選択してくれた時の後押しをして



重機での魚釣りにキャラリも注目

くれることを、併せて期待いたします。最後になりますが、このような子どもたちの夢を育むことができる建設フェスタの開催にご尽力いただいた茨城県土木部をはじめとする発注者各位、協賛団体及び協力会社等関係各位に御礼申し上げます。

関東・東北豪雨被災地へ
笑顔届ける

砂場クリーン作戦遂行！

地域貢献活動委員会 副委員長 串田 一仁

平成28年6月1日に第3回の「平成28年度砂場クリーン作戦」を昨年に引き続き実施いたしました。この企画は、子供達に安全で衛生的な砂場環境で遊んでもらうことと共に、これから未来へ羽ばたいて行く次世代の子供達に、自分達が直接関与し、自分達で砂場をきれいにしたんだという達成感を自らの成長に繋げてもらえればと、地域へ貢献する活動として砂場清掃奉仕活動を実施しています。今回ご協力いただいた開催地は、常総市にある学校法人 寿広学園が運営する「私立 石下幼稚園」でした。開催地を選定するにあたり、いくつかの幼稚園を候補として挙げさせていただきましたが、ここ石下幼稚園の地域では、平成27年9月9日から9月11日にかけて、関東・東北豪雨の影響で鬼怒川の数か所で越水や堤防からの漏水が発生し、すぐ付近では堤防が決壊し広範囲にわたり浸水被害を受けました。そして、全国から災害復旧のボランティア活動の方々が集まり、復興に向けて活動している地域でもありました。そこで当委員会も被災地域で貢献ができればと、今回は決壊場所からほど近い石下幼稚園での開催とさせていただきます。



- 補充作業。
- ④口に入れても無害な消毒液散布による、除菌・抗菌作業。
- ⑤犬猫等の小動物糞尿害を防ぐ為の防除ネット製作・設置。



養生ネットも贈呈

作業内容としましては、
①重機、人力スコップにより砂を場外へ掘り起こす作業。
②電動砂振るい機、振るい網（人力）による、異物除去等振るい分け作業。
③振るい分けによって目減りした砂を補充する

砂場は大小二つあり、二班に分かれ、園児達にも振るい網による振るい分け作業を体験してもらいました。カラーコーンやバーなどで安全管理をしながら重機やダンプトラック等を搬入した為、実際の建設現場の様な光景に園児達も大興奮の様子でした。作業を終えてみると、土嚢袋12袋分の小石、小枝、枯葉、プラスチック片、金属片そして玩具等を除去する事ができました。幼稚園の先生方からは、感謝の言葉をいただき、そして何より作業初体験で目を輝かせている園児達の姿を見ると、もっとこれからも地域の為に貢献できる委員会として活動できればと感じました。そしてその活動が、延いては私たち建設産業の発展にも繋がっていくものと確信いたしました。

最後に今回の砂場クリーン作戦活動にご協力いただいた「私立 石下幼稚園」をはじめとした関係者の皆様に感謝を申し上げますと共に、今後もこのような活動への変わらぬ御協力、御指導の程宜しくお願い申し上げます。

子どもたちも一所懸命



中学生が楽しみながら木造倉庫建設体験

水戸市立双葉台中学校で開催

前水戸地区 幹事 横田 修一

平成28年度のCCI茨城（茨城県魅力ある建設業推進連絡会議）「建設体験学習」は10月4日、11月2日の2日間、水戸市立双葉台中学校の2年生102名を対象に開催しました。



建築に携わった「二八荘」の完成を祝った

1日目は、「木造倉庫の基礎工事」「測量体験」を実施しました。基礎工事では鉄筋の曲げ加工と結束をしましたが、鉄筋を90度に曲げることや、ハッカーをくるくる回して結束することが難しかったようで、大分苦戦していました。測量体験では、レベル・光波に触れてもらいました。標尺の数字を読むのに苦労したり、巻き尺を使わなくても距離を測れることに驚いていました。

に打ちづらいビスに悪戦苦闘しながらも頑張って組み上げていました。重機操作体験は、コマツ茨城様のご提供、ご指導のもと、小型バックホウ2台、振動ローラー2台を使っでの操作体験をしました。中には呑み込みが早く、スムーズに運転している生徒もいました。

最後に基礎コンクリートの打設を行い、一輪車でよろけながらも一生懸命に運んでいる姿はとてもほほえましく思えました。仕上げ作業はこちらで行いましたが、人力作業の大変さを実感できたようです。

完成した建物は「二八荘」（ふたばそう）と命名され11月25日に引渡式を行いました。引渡し式には、水戸市教育委員会 本多教育長、茨城県土木部検査指導課 古平課長、双葉台中学校 父母と教師の会 高倉会長にご列席賜り、生徒代表謝辞では、「将来において貴重な経験をさせていただきました。完成した倉庫は大切に使用させていただきます。」との言葉を頂きました。

2日目は、「木造倉庫の組立作業」「重機操作体験」を実施しました。校倉工法の木造倉庫は、角材を水平に積上げていく工法です。生徒たちは2人1組になり、なかなか入らない角材、まっすぐ

今回、建設体験学習に関するアンケートを実施した結果、建設業について知っていた生徒が全体の8割も占めており、そのアプローチは1位がテレビ（50%）、2位が工事現場（25%）、3位が家族・友人・知人（15%）という内訳で、意外と工事現場に関心があることに気付かされました。



鉄筋結束にチャレンジ

また、将来建設業に関する仕事に就きたいと考

えている生徒は1割弱しかいませんでしたが、まだどういった仕事に就きたいかわからない生徒が半数以上を占めていました。こうしてみると、中学生は物事への関心が強く、将来どのような仕事に就きたいかを決め始める年頃であると考えられます。今回の体験学習を終えて、建設業がどのような職種かわかった生徒たちが95%を占め、ほとんどの生徒たちが体験学習を楽しんで参加してくれ

たことに、感謝の気持ちとやりがいを感じました。同時に、生徒たちが進路を決める上で、「建設業」という新たな選択肢が芽生えたと思っております。

最後に、建設体験学習の実施にあたり、茨城県土木部検査指導課、茨城県建設業協会を始めとする多くの方々から多大なご協力を頂きましたことに対し、厚く御礼申し上げます。

高校生などが建設業を体感

現場見学会・実習を開催

副会長（前人材・システム委員長） 高田 稔美

次世代を担う高校生・専門学校生・大学生を対象に建設事業の正しい理解と魅力を感じていただけるように毎年現場見学会・現場実習を開催しております。今年度は建設現場実習に6つの高校、3つの専門学校の生徒さんあわせて151名に参加していただき、58社の茨城県建設業協会の会員企業のご協力をいただいて実施することができました。建設現場見学会は6つの高校、2つの専門



学校、1つの大学に参加いただき375名の生徒さん、23名の引率の先生に参加いただいて実施することができました。いただいたアンケート結果や先生方のご意見は来年以降につなげていきたいと思っております。

現状建設業界も他業種同様、人材不足・高齢化が問題となっております。茨城県でも普通科の生

徒さんのインターンシップ、4週8休のモデル工事の実施、労務単価の見直しなど若年入職者の増加に向けての取り組みが強化されています。実習・見学会に参加した生徒さんのアンケート結果からも建設業界への入職の可能性が高まってきました。今後も建設現場で自分の目で見て、感じて将来の進路を決める一助となるように学校関係者の皆様と連携を取りながら事業を実施してまいりますので会員の皆様のご協力をお願いいたします。

結びにこの事業にご協力を賜りました茨城県土木部様、国土交通省様、実習生・見学生を快く受け入れてご指導いただきました会員企業の皆様に心から御礼申し上げご報告にかえさせていただきます。



「第4回建設ふれあい祭り」を開催

～地域の子供達に夏休みの思い出を～

監事（前県西地区幹事） 小澤 淳

建設ふれあい祭りは今回で4回の開催になります。昨年は、平成28年8月27日(土)に境町利根河川敷にて行い途中の雨天にもかかわらず、1200人のお客様にご来場いただきました。このふれあい祭りは「地域の子供たちに楽しい夏休みの思い出をプレゼントしよう!」というのが基本概念です。

始めるきっかけになったのは、子供たちの声でした。「ブルドーザに乗りたい。バックホウに乗りたい」など重機に対する思いを数々聞いたことでした。子供たちは働く機械が大好きですが、工事現場は危険であり、立ち入りは禁止されているので、簡単には近づけません。重機に乗ったりしてみたいという声を聞くようになり、何とかその夢を叶えてあげることはできないか?と話し合いました。話し合ってみれば、建設機械ならば自分



たちが所有しているものばかりです。イベントとして重機の搭乗体験をやってみよう!となったのが建設ふれあ

い祭りの始まりでした。

前日準備では未来協議会境支部の会員と県西地区会の人員で準備を行い、各社が所有している「社名入りの機械」をたくさん持ち寄りました。バックホウ10台・タイヤショベル2台・タイヤローラー1台・高所作業車1台・アスファルトフィニッシャー1台・草刈機2台と多くの重機が揃いました。安全面ではカラーコーン・バーを300セット用意し重機搭乗体験内に入れない様に会場を設営しました。

開催当日は朝早くから多くの家族連れでにぎわい、子供たちの明るい声と笑顔がたくさんあふれていました。今回は会場アンケートを実施し、来場者皆さんの声を聞かせていただきました。



その感想として「非常に楽しかった」「カッコイイ」「来年も来たい」「皆さんやさしかった」「親子で楽しめた」など嬉しい声をいただきました。このような声が毎回聞こえてくるよう次回からも入念な企画運営を心掛けたいと思っております。

日頃、地域の皆様には工事などでご不便をおかけしてばかりです。あまり良いイメージを持たれていないとばかり思っていました。そんな事は全くありませんでした。我々のやっている仕事はこうして子供たちを喜ばせることができ、家族で楽しんでいただける仕事であると気づくことができました。そしてこれまで3Kなどと言われてきた職業ですが、重機に乗る子供たち、家族の笑顔を見て、建設業に携わる一員として自信を取り戻すきっかけにもなりました。ふれあい祭りは地域貢献活動との位置づけですが、逆に建設業というもの

の存在価値を我々が地域の皆様から教えていただいた気がします。こうして地域の皆様とふれあう貴重な機会を大切に息の長いイベントになるように今後も活動していきたいと思っております。



広報委員会 活動報告

建設業を積極的にPR

広報委員長 鈴木 達二

平成28年度に特設委員会として発足した広報委員会では、地域社会になくてはならない「未来産業・将来産業」としての建設業をPRすることを目的に、協議会の活動や地域建設業に関する情報を発信してまいりました。

新聞、テレビ等のマスメディアに対しては随時プレスリリース（報道発表）を配信し、協議会の活動やイベントへの取材誘致を行いました。その結果、テレビ（NHK水戸）や新聞（一般紙）への露出が顕著に増加しました。また、建設業界紙等の専門紙にも積極的に情報発信を行った結果、地元紙のみならず、全国紙で協議会の活動をPRすることができました。

インターネット上では主にFacebookを活用することで、一般の市民の皆様への情報発信を行いました。Facebookでは協議会の活動のみならず、建設業の役割や建設に関連する地域の情報などを取りあげ、多くの「いいね」やシェア、コメントをいただきました。

また、建設フェスタ、建設ふれあい祭りの各イベント前には、インターネットの各種イベント情報サイトに情報を掲載することで、集客と情報提供を行いました。

広報委員会では今後も幅広い情報発信を行っていくと同時に、情報を受け取っていただく皆様とのコミュニケーションも含めた双方向の広報活動を実践していきたいと考えています。まずは建設未来協議会Facebookページにアクセスしてみてください。

URL : <https://www.facebook.com/kensetsumiraikyoo/>
(もしくは「建設未来協議会」で検索。)



ある日のFacebook投稿

北関東三県建設業協会 — 1年越しで本県開催 —

平成28年9月7日、水戸市（ホテル・ザ・ウエストヒルズ・水戸）において、茨城県、群馬県、栃木県の北関東三県建設業協会の若手経営者らに加え、千葉県建設業協会の青年部会にもオブザーバーとして参加していただき、「北関東三県建設業協会青年経営者等合同会議」を開催いたしました。

本会議は、各県の建設業協会に所属する若手経営者らが建設産業のあるべき姿と方向性を議論・検討するとともに、各県の活動内容を把握する目的で、平成24年度に栃木県を主幹としてスタートされた取り組みです。

本来であれば、昨年度に茨城県で開催する予定でしたが、関東・東北豪雨災害の影響により延期となり、1年越しの開催となりました。

会議では、青年部会が中心となって取り組んでいる地域貢献活動や人材育成事業、発注者との意

青年経営者等合同会議

顧問 増子 秀典



見交換会など、それぞれの事業について報告を行ったあと、総合評価落札方式の加点項目をはじめとする各県の入札制度などについて意見交換を行いました。

栃木県により第1回が開催されてから、ちょうど一巡した本会議ですが、関係各位のご協力のもと、継続し実施することがしていければ幸いです。

委員会紹介

総務委員会

当委員会は主に総会・親睦行事等の各種会合及び各発注機関との意見交換会の企画・運営をしております。各発注機関との意見交換会では技術・品質の更なる向上のため、受発注者間での問題を提起し各発注者様の御協力のもと、非常に有意義な意見交換を開催させて頂いております。

今年度も会員各位への連絡調整、情報提供等へ努めてまいりますので皆様の御協力をよろしくお願い

します。

<今年度の主な事業>

- 総会、役員会、親睦行事の企画・運営
- 各発注機関との意見交換会の企画・運営
- 機関紙NEXTの発行
- 予算・決算に関する業務
- 会員各位への連絡調整・情報提供

担当副会長 大曾根 理一郎（㈱大曾根建設）

委員長 櫻井 俊一（櫻井建設工業㈱）

副委員長 田山浩之（第一熱学建設㈱）・後藤一憲（㈱後藤工務店）・長山朋之（長山工業㈱）・河野真（㈱河野工務店）・仁平大介（㈱仁平工務店）

委員 須田要介（日立土木㈱）・小林信昭（㈱小林建設）・平山悠（㈱水府工務店）・大曾根篤（大栄建設㈱）・飯塚揚（㈱飯塚工務店）・石津松吾（石津産業㈱）・石津弘敏（常総開発工業㈱）・鍋木大輔（鍋木建設㈱）・飯塚亮平（飯塚建設㈱）・塚原健一（㈱塚原建設）・谷田川道裕（谷田川建設㈱）・石川崇（北条工業㈱）・田林剛（勝工業㈱）・田所大和（㈱ワイエスケイ）・柴信一（旭建設工業㈱）・中山英士（のだや建設㈱）・中山英俊（㈱染谷工務店）・根本忠志（㈱根本工業）・高橋拓也（㈱高橋芝園土木）・松本浩治（㈱新栄開発）

人材・システム委員会

人材・システム委員会では高校生、専門学校生を対象にした現場見学会、現場実習を通して、今後の建設業を担う世代に建設業の魅力・必要性を理解してもらえよう活動しております。また、少子高齢化により建設業の人手不足が深刻化し、建設現場でのICT技術（情報通信技術）を活用した合理的な生産システムの導入が必要とされています。さらに経営力強化のための講習会を企画し、時代のニーズに沿った学びの機会や研究を通して、未来の建設業

の発展に寄与するべく委員会活動に取り組んでまいります。

<今年度の主な事業>

- 高校生・専門学校生の現場見学会及び現場実習の実施
- 高校・専門学校教師との意見交換会
- 経営力強化、ICT技術（情報通信技術）活用のための勉強会・講習会の開催
- 未来の建設業についての調査研究等

担当副会長 柴 直樹（㈱柴建設）

委員長 新井 紀雄（新井土木㈱）

副委員長 田口富之（㈱田口工務店）・横田修一（㈱横田建設）・井坂陽介（㈱井坂組）・赤塚剛（㈱赤塚土木興業）・大和田隆之（㈱大和田建設）・染谷真一（㈱染谷建設工業）

委員 雲井憲正（㈱雲井工務店）・黒澤勝（アルプス建設㈱）・小池良一（㈱小池工務店）・中井将史（㈱中井工務店）・中野陽平（㈱根本組）・石井貴之（㈱石井建設）・石井公彦（㈱角石）・大森裕一郎（大森建設㈱）・齋藤靖弘（㈱サイトウ緑地開発）・安藤祐章（㈱鹿島企業）・大川雄生（㈱サンワ興業）・軍司修利（軍司建設㈱）・城内浩和（㈱大平工業）・細田誠一（誠殖産興業㈱）・茂木充史（水郷建設㈱）・森貴敬（森新建設㈱）・谷田川智久（㈱ホソヤ工務店）・赤塚康伸（赤塚工業㈱）・後藤賢（飯田建設工業㈱）・鈴木亮（北都建設工業㈱）・川田秀樹（㈱川田建材工業）・鮎川和男（飯田建設興業㈱）・高塚誠司（高塚建設工業㈱）・野口貴生（野口機設工業㈱）・新井邦幸（㈱新井建設工業）・印出正人（㈱丸健工業）・大橋一博（森田建設工業㈱）・小川敦史（小川建設工業㈱）・菊池忠行（㈱菊池工業）

地域貢献活動委員会

当委員会は主に建設フェスタ及び砂場清掃奉仕活動の企画・運営を行っております。担当事業を通して、次世代を担う子供達や親世代の方達などに生活・社会基盤の整備を担う建設産業の魅力や建設産業の未来を楽しく理解してもらえるように活動しております。

おかげ様で平成29年度も建設フェスタの開催が決定いたしました。本年度も引き続き会員各位や関係

団体の皆様方のご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

<今年度の主な事業>

- 建設フェスタ2017の企画運営
- 献血・骨髄バンク登録事業への協力
- 保育園等の砂場清掃奉仕活動

担当副会長 吉田 長邦 (株)吉田組)

委員長 内藤 裕一郎 (株)内藤工務店)

副委員長 秋山正人 (株)秋山工務店)・根本昌義 (株)根本工務店)・若松亜紀子 (菅原建設株)・生田目勝義 (株)生田目工務店)・高野弘康 (株)高野工務店)・川崎和洋 (株)川崎建設)・菅谷一成 (株)菅谷工務店)・菊池健郎 (株)菊池土建)・串田一仁 (株)クシタ建設)

委員 北島博 (株)北島工務店)・仙波秀教 (仙波建設株)・高橋順子 (高橋建設工業株)・益子朋 (益三建設株)・岡田寿浩 (株)岡田建設)・鈴木欽一 (株)鈴木組)・瀬谷政行 (瀬谷建設株)・井上将人 (株)井上工務店)・大内榮樹 (株)大栄建設)・猿田俊充 (株)猿田工業)・澤畑弘樹 (東康建設工業株)・清水亮 (株)田本工務店)・高倉美佳 (高倉建設工業株)・根本貴史 (ネモト建設工業株)・野上大輔 (野上建設株)・橋本将一 (橋本建設株)・八木満津雄 (株)八木組)・横須賀靖 (横信建材工業株)・柳瀬香織 (海老根建設株)・小野口整慶 (常陽開発工業株)・齊藤卓也 (株)齊藤建設工業)・新堀進也 (株)新堀産業)・藤井雅成 (株)丸二工務店)・藤枝賢一 (藤枝建設株)・犬塚正一 (株)和城産業)・保立明宏 (株)宏洋)・松崎祐二 (株)松崎建設)・櫻井郭実 (株)櫻文工業)・篠崎尚史 (株)篠崎工務店)・福智勇人 (福智建設工業株)・仲川将大 (株)仲川建設)・堀江平 (堀江産業株)・大坂寛暁 (大坂建鋼株)・鈴木茂 (株)鈴木鉄工建設株)・野中泰博 (常総ブロック株)・青木敏紘 (株)青木建設)・小澤淳 (小澤道路株)・高崎弘道 (株)高崎建設)

広報委員会

昨年度、特設委員会として発足した広報委員会は、今年度から常設委員会となり、引き続き協議会の活動や地域建設業の役割を市民の皆様幅広く知っていただくためのPR活動、イメージアップ活動を実施していきます。協議会各委員会・地区会の多様な活動やイベント情報、建設業に関するニュース・トピックス等を中心に情報発信を行います。インターネット(ホームページ、SNS)だけでなく、新聞、テレビ等のマスメディアに対しても積極的な情報発信と取材誘致を行い、一般媒体での地域建設業の露出増加を図ります。国や県などの発注機関とも協力

し、独自のPR・イメージアップ活動を行うことで、地域建設業の担い手不足解消に広報の面から取り組んでまいります。

<今年度の主な事業>

- 協議会各種活動の取材・記録・広報素材の製作
- インターネット、SNSを活用した広報・イメージアップ活動
- マスメディアの取材誘致・取材対応
- イメージアップ事業の企画・立案
- ホームページの管理・運営

担当副会長 高田 稔美 (株)高田工務店)

委員長 鈴木 達二 (鈴縫工業株)

副委員長 荒川繁美 (水戸土建工業株)・生田目憲明 (株)進栄)・栗山秀樹 (栗山工業株)・小倉健太郎 (株)小倉工務店)

委員 宮本裕司 (芳野工業株)・郡司誠 (株)郡司建設)・細谷貴弘 (株)細谷建設工業株)・石嶋尚 (株)石島建設)・山本明宏 (株)下妻建設)・加藤裕司 (加藤建設工業株)

●平成28年度 入会者

地区	氏名	商号	郵便番号	住所	電話番号
大宮大子	橋本将一	橋本建設(株)	311-1235	ひたちなか市田中後39-6	029-262-3924

●平成29年度 入会者

地区	氏名	商号	郵便番号	住所	電話番号
県西	中山英士	のだや建設(株)	304-0819	下妻市鎌庭527-3	0296-43-5010
高萩・太田	石井貴之	(有)石井建設	313-0223	常陸太田市和田町1029-2	0294-85-1001
高萩・太田	平山悠	(株)水府工務店	313-0222	常陸太田市松平町49-15	0294-85-0041

●卒業された皆さん

地区	氏名	商号
水戸	大平嘉章	大平建設(株)
水戸	鈴木勝彦	(株)鈴木良工務店
高萩	小林邦友	スペンサー工業(株)
潮来	重田弘明	(株)鹿島建設
竜ヶ崎	増川剛	増川建設(株)
竜ヶ崎	松尾拓也	松尾建設(株)
境	菊地和幸	(株)五霞建設

編集後記

みなさんは普段、建設業にどのようなイメージをお持ちでしょうか？3Kでしょうか？今、建設業では、少子高齢化に伴う労働人口の減少もあり、担い手不足が叫ばれています。建設業の従事者は平成10年辺りから減少を続けており、型枠工、鉄筋工においてはその傾向が顕著に表れています。建設未来協議会では、多くの方に建設業への理解と興味を持っていただけるよう、今年で23回目となります「建設フェスタ」をはじめ「建設ふれあい祭り」や「砂場クリーン作戦」などの活動を行っています。これらを通して少しでも建設業を志す若者が増えたらと思います。

(T・Y)